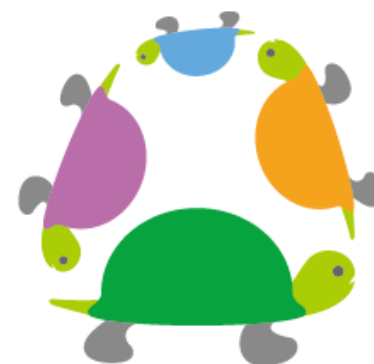


住民とともに地域の未来を創る 南花台の取組

地域課題×スマート技術研究会vol.1
SENBOKUスマートシティコンソーシアムスマートタウンWG

「ニュータウン」から「ニューコミュニティ」へ



クルクル
テクテク
NANKADAI
南花台
河内長野市

1. 河内長野市の概要 (地理・現状)



面積：109.63km² (大阪府下3位)
人口：99,618人 (本年4月10万人割れ)

【市の特徴】

- ・大阪府下33市中で最も人口減少・少子高齢化が進行
高齡化率 35.85% (33市中 1位)
人口増減率 -1.45% (33市中32位)
- ・犯罪発生率府下最小
- ・地盤が強いランキング関西1位
- ・文化財が多く令和元年・2年度 3つの日本遺産認定



2. 南花台の現状（課題）

「咲っく南花台プロジェクト」の推進

面積：98 h a

人口約6,800人（H7：人口11,400人）

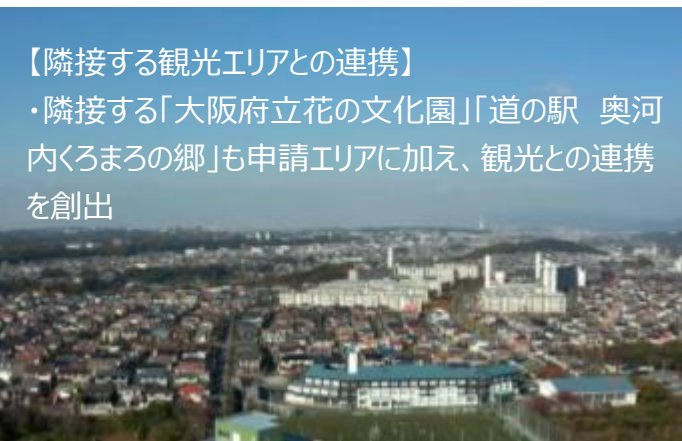
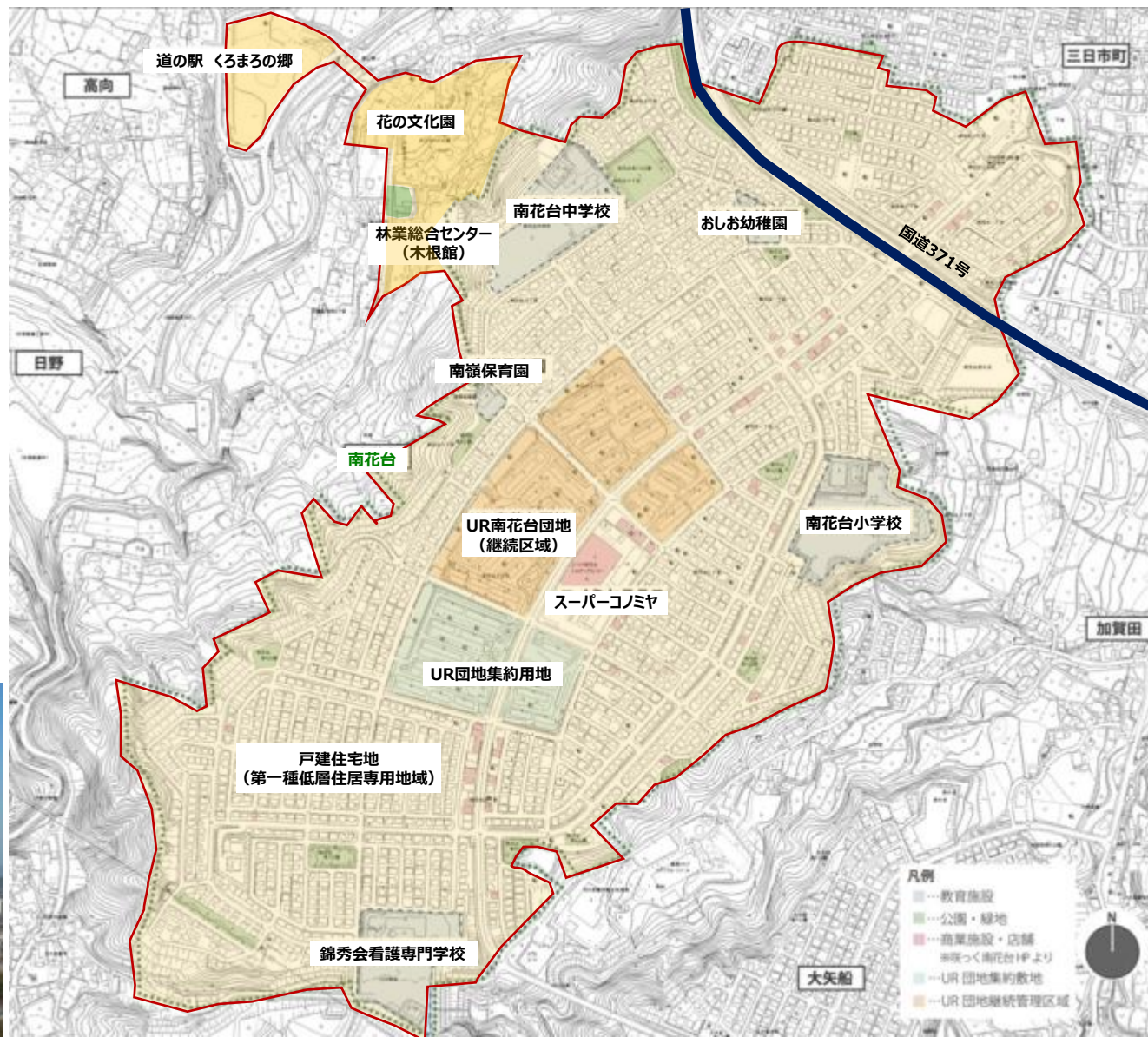
約3,500世帯

【南花台の特徴】

- ・昭和57年にまち開きした開発団地
- ・南海高野線三日市町駅からバスで約15分
- ・中心に商業店舗（コノミヤ）・UR団地・民間マンションが位置し、周辺は戸建住宅が立地
- ・河内長野市南部の郊外開発団地の玄関口
- ・平成26年度開発団地再生モデル構築を目指す「咲っく南花台プロジェクト」立上げ
- ・平成27年度には河内長野市第5次総合計画で「丘の生活拠点」に位置付け
- ・立地適正化計画において「居住誘導・特定機能誘導地域」に位置付け

【隣接する観光エリアとの連携】

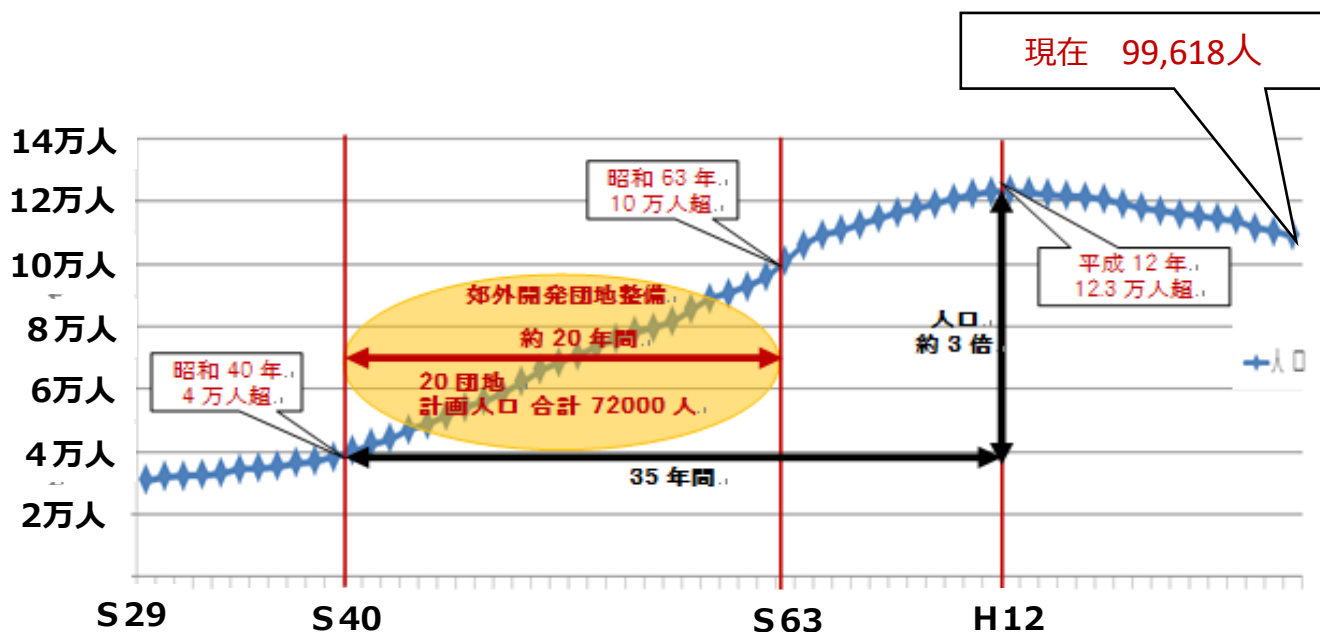
- ・隣接する「大阪府立花の文化園」「道の駅 奥河内くろまろの郷」も申請エリアに加え、観光との連携を創出



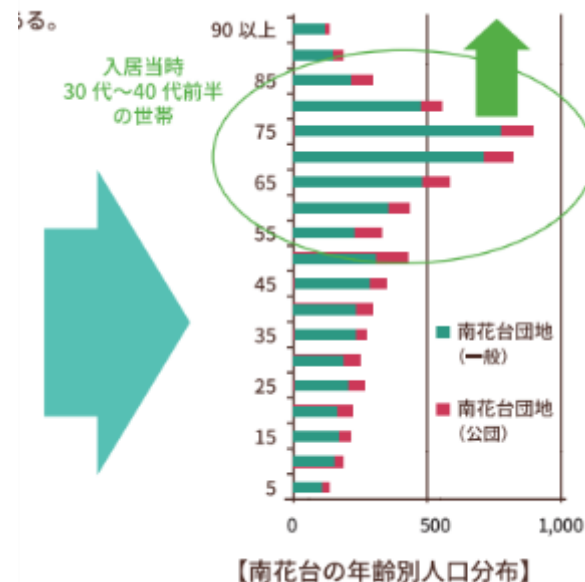
3. 咲く南花台プロジェクトの必要性

急速に人口減少・少子高齢化が進む要因

- 昭和40年に4万人
- 約20年間で、20団地（計画人口合計7万2千人）の開発団地を整備
- 急激に人口が増加し、平成12年に12万3千人に到達
- 大阪府下で最も人口減少・少子高齢化が進行



多くの開発団地を短期間で整備し、急激な人口増加を図った。



子ども世代の社会減（世帯分離）による人口減から、親世代の自然減（死亡）に以降

⇒空き家の急激な増加が予想される状況

4. 「咲っく南花台プロジェクト」の推進体制

- 地域住民を主体にした**公民学連携**の体制を構築
- ともにふれあい、ともに考え、ともに物事を越す「咲っく南花台リビングラボ」を展開

■ 地域住民

まちづくりの実行主体

- 咲っく南花台健康クラブ・まちの保健室
- 生活支援（お互いさん）
- 子育て支援（ニコニコサロン・子ども食堂）
- 移動支援（南花台モビリティ「クルクル」）

■ 民間事業者等

まちづくりの実行支援・技術提供

- コノミヤ（コノミヤテラスの提供）
- 錦秀会看護専門学校連携（地域包括ケア）
- UR都市機構（UR団地集約事業）
- その他技術提供企業
（三菱総合研究所、NTTコミュニケーションズ
ヤマハ発動機、日立システムズ、関西電力など）



咲っく南花台リビングラボ
拠点：コノミヤテラス

■ 関西大学

地域の声（ニーズ）を深く研究・コーディネート

- コノミヤテラスでの活動
- 地域ワークショップ
 - ものづくりプロジェクトなど
 - 地域のイベント参加
 - 全体コーディネート

■ 河内長野市・大阪府

ニーズに合った施策をプロジェクトの要素として投入 （後方支援）

- 廃校跡地活用事業
- 地域包括ケアの具体化
- UR団地再生事業
- 自動運転実装事業
- 公共施設管理手法検討事業

5. 「咲っく南花台プロジェクト」の取組み概要

- 基本スタンスは「まずはやってみる」「やりながら考える」
- 「誰のために何をするか」の共通認識
- 地域住民主体の6つのプロジェクトから広げるまちの可能性拡大

① みんなの拠点づくりプロジェクト

② 健康仲間づくりプロジェクト

③ 生活応援プロジェクト

④ 子育て子育て環境づくりプロジェクト

⑤ まちの情報発信プロジェクト

⑥ 咲っく南花台事業者の会



カヌーづくりプロジェクト



塗ってみようプロジェクト



地域ワークショップ



6. 「咲っく南花台プロジェクト」から生まれたまちの可能性

①南花台西小学校廃校跡地活用

- 廃校となった南花台西小学校の跡地に、「看護専門学校」を誘致（※校舎無償譲渡）
- 看護学校との連携により、イベントの実施や交流、高齢者の見守り活動など連携事業が拡大
- 学校施設（人工芝グラウンド・体育館）を一般開放



6. 「咲っく南花台プロジェクト」から生まれたまちの可能性

② グリーンスローモビリティを活用した移動支援の実装

■ コンセプト 「のりあい」から「ふれあい」へ

【特徴1】**地域住民主体**の運行

【特徴2】地域内の**電柱約300本**を乗降ポイントに適用

【特徴3】環境に配慮した**低速電動ゴルフカート**を使用

【特徴4】**ロゴやネーミング**をわかりやすく覚えやすいデザインで制作

【特徴5】低床で乗り降りがしやすく、**オープンで開放感のある乗り物**



のんびり、楽しく、いかへん？
クルクル

地域の仲間と楽しく運営
住民同士のコミュニティが広がる移動支援

乗降ポイント
(例 2丁目15番12号)
地番を乗降ポイント番号に



6. 「咲っく南花台プロジェクト」から生まれたまちの可能性

③ 開発団地内での全国初の自動運転実装

(令和3年10月16日運行スタート)

- 「運行負担の軽減」と「安全性の向上」を両立し
持続性を高める自動運転を実現
- 令和4年度：遠隔監視システム導入
- 安価で誰でもオペレーション可能なレベル4の自動運転
移動支援モデル構築

南花台モビリティ **クルクルが**
新しいメンバーを
募集します



のんびり、楽しく、いかへん?
クルクル

南花台で、春から新たに自動運転の実証実験が始まります。運転や添乗を手伝っていただけるボランティアスタッフが必要です。新たな取り組みである自動運転運行チームに、ぜひ力を貸してください。

※河内長野市民であれば、どなたでもご参加いただけます。



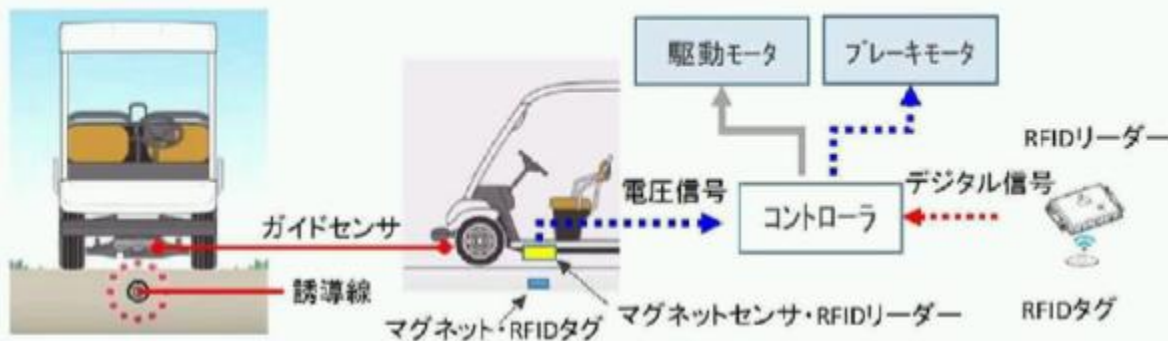
●お問い合わせは●

まずは、下記までお気軽にお電話ください。活動の内容や自動運転のことなど、ご説明させていただきます。説明会の開催も予定しています。

0721-65-0133

河内長野市社会福祉協議会

■ 電磁誘導式自動走行システム



6. 「咲っく南花台プロジェクト」から生まれたまちの可能性

④UR南花台団地集約跡地を活用したまちの魅力を高める公園整備

■南花台中央公園整備

(スパンツァ大阪本拠地スタジアムを含む)

地区内にあるいくつかの公園を集約しまちの中心となる当該用地に多世代が集え、子どもが安心して遊べる公園を整備

サッカーチームとの連携による新たなまちづくりとまちの魅力向上を生み出すサッカースタジアム建設

■認定こども園整備

子育て世代の魅力を高める認定こども園をまちの中心となる当該用地に整備されることで、まちの活気と子育て支援の強化を図る。

■UR団地継続区域への入居促進開始

集約事業準備のため長きにわたり入居制限してきたUR団地の空き住戸の本格的な入居促進が本年1月より始まり、子育て世代の転入の可能性が高まっている。

■UR団地外壁塗装

団地の外壁を、地域の風景に受け込む外壁へ塗装
オールドタウンのイメージを一新



生まれ変わったUR団地



外壁塗装



着実に積み重ねてきたコミュニティとまちづくりの実績

地域 × 大学 × 企業 × 自治体でリビングラボを形成し、進み続けるまちづくりを実現

コノミヤテラス 整備

- ・地域ワークショップ
定期開催
- ・カヌーづくりなど、多
様な地域交流活動実施
- ・まちの情報発信「咲っ
く南花台.COM」開設

助け合いの 仕組み構築

- ・子育て支援ルーム開設
- ・買い物支援開始
- ・まちの保健室開設
- ・健康クラブ開設

まちづくり 可能性増大

- ・生活支援開始
- ・廃校跡地に看護学校誘致
- ・事業者の会で商店会復活
- ・UR 団地集約型再生事業
開始

まちづくり 機運醸成

- ・移動支援「南花台モビリティ
クルクル」運行開始
- ・R3.7月自動運転実装開始
- ・サッカーチーム本拠地
スタジアム誘致決定
- ・認定こども園誘致決定
- ・公園集約実施決定
- ・小中一貫校の設置決定

地域住民 合意形成



7. 「咲っく南花台プロジェクト」から生まれた横展開

① H2Oリテイリングと連携した「コノミヤテラス」の横展開

■ **咲っく南花台プロジェクトを横展開**し、「コノミヤテラス」をモデルとした地域の商業店舗との連携による地域まちづくり支援拠点「イズミヤゆいテラス」令和3年4月オープン

H2Oリテイリング(株)との連携により、河内長野駅南側に位置するスーパーイズミヤの4階を無償で借り受け、コノミヤテラスをモデルとした地域まちづくり支援拠点「イズミヤゆいテラス」を整備

社会福祉協議会、ボランティアセンター、歯科医師会、薬剤師会、JC等が同居し、関西大学、桃山学院大学、千代田短期大学等と連携し、新たにイズミヤゆいテラスリビングラボを形成

■ 施設整備においてもリビングラボを展開し、使いながら、議論しながら計画・設計・整備を一体的に実施
場所の魅力を最大限に活かした気持ちの良い空間が誕生

■ 使いながら施設の活用方法・ルール等を決め、だれでも、いつでも目的に関わらず共存できる場を目指す。



■ 全体パース図



■ オープニングセレモニーの様子

7. 「咲く南花台プロジェクト」から生まれた横展開



② 南花台モビリティ「クルクル」の横展開

下里モビリティ「クルクル」

南花台モビリティ「クルクル」をモデルに地域住民主体の移動支援をスタート【公共交通空白地の解消を実現】



出発式 **7月17日(日)**
 時間：9：00～
 場所：下里老人クラブ集会所
 内容：セレモニーを開催後に町会を1周いたします
 ※参加申込等は必要ありませんので、お気軽にお越しください。

運行開始 **7月19日(火) 運行開始**
 運行時間：毎週火・金曜日 午前8時～11時の運行
 ※祝日は運休いたします。
 利用方法：運行時間中に下記の電話番号に電話いただき、乗車場所と目的地をお伝えください。
080-2950-4970
 走行エリア：裏面地図コース内を巡回します。
 ※緑ヶ丘郵便局・石倉医院・安本歯科も巡回可能です。

「クルクル」のドライバーを募集しています。
 ドライバーとして、取り組みがたい方は下記の問い合わせ先までご連絡ください。
 問合せ先：河内長野市役所 総合政策部 政策企画課 TEL：0721-53-1111 下里町会

ヤマハ発動機実証実験

日東町・大師町にてヤマハ発動機が千葉大学、H2Oリテリング、第一交通と連携し移動支援の実証実験実施

カートに乗って元気に!? 笑顔に!?
 お出かけ、買い物をもっと気軽に♪

大師町、日東町で
電動カートを使った実証実験が始まります!

事業名 電動カート利用による健康維持の効果検証

河内長野市では「住み慣れた街で住み続けられるまちづくり」の取組のひとつとして、「電動カートによる移動支援が、人とのふれあいを増やし健康長寿に繋がるのではないか」という効果検証のため、南ヤマハ発動機、千葉大学、イズミヤ商、創エイチ・ツー・オー産業開発と連携して実証実験を行います。

実証実験期間 2022年7月25日(月)～2023年1月21日(土)

運行曜日 月・水・金・土
 ● 当日曜日が祝日の場合も運行します。
 ● 悪天候等による運行中止時は、イズミヤ発着所に表示します。

運行時間 9時30分～12時、13時～16時

運行方法 電動カート2台で裏面の運行ルートを実行。

時刻表	時計回りルート	反時計回りルート	
時	イズミヤ商	時	イズミヤ商
09	30	09	45
10	00 30	10	15 45
11	00 30	11	15 45
12		12	
13	00 30	13	15 45
14	00 30	14	15 45
15	00 30	15	15
16		16	

● 詳細は裏面の時刻表をご確認ください。

乗車する方へお願い

- 65歳以上で乗車に必要なQRコードをお持ちの方はQRコードをドライバーにご提示ください。
- 小学生以下の乗車には保護者の同伴が必要です。

電動カートご乗車イベントカード
 スタンプ3個で
 イズミヤのお買い物 **5%OFF**

申込要領詳細：1日に1回につきスタンプ1つを回収します。
 スタンプ3つを集めることで5%の割引権利5%OFF券としてご利用いただけます。お買い物をしただけでスタンプは回収されません。
 ※当券の有効期限は2022年8月31日(日)にて終了します。

7. 「咲っく南花台プロジェクト」から生まれた横展開

③ 視察を通じた横展開

2021年6月17日	和歌山大学 (CITE サロン)
2021年7月2日	一般社団法人夢洲新産業・都市創造機構
2021年7月21日	日本共産党 (大門参議院議員、河内長野市議)
2021年7月30日	和泉市議
2021年9月30日	宇陀市
2021年10月16日	四条畷市
2021年10月19日	大阪府 環境農林水産部 金森環境政策監ほか
2021年11月4日	大阪府 政策企画部 企画室計画課
2021年11月5日	近畿建設協会、宇陀市、明日香村
2021年11月19日	堺市議
2021年11月25日	NPO 法人おおつ環境フォーラム
2021年11月17日	泉州農と緑の総合事務所
2021年12月6日	八幡市、UR都市機構
2021年12月8日	大阪経済大学学部生グループ
2021年12月8日	神戸市
2021年12月21日	UR都市機構
2021年12月24日	豊中市
2022年2月4日	岸和田市議
2022年2月28日	河野太郎衆議院議員
2022年4月21日	王寺町役場 (王寺町長以下)
2022年4月26日	奈良市公共交通バリアフリー課
2022年5月12日	NHK
2022年5月17日	和泉市
2022年5月19日	王寺町町会役員
2022年6月2日	C4IR
2022年6月8日	大阪副知事



河野太郎衆議院議員



取材内容は JapanTIMES 掲載

2022年6月24日	大阪府社会福祉協議会
2022年6月30日	奈良市地域役員
2022年7月4日	日本郵政
2022年7月5日	南海電鉄
2022年7月19日	枚方市
2022年7月21日	四條畷市
2022年7月28日	豊能町
2022年8月16日	朝日新聞
2022年8月18日	池田市
2022年8月25日	大阪都市計画局
2022年9月29日	橋本市
2022年10月3日	調布市自民党行政視察
2022年10月20日	奈良県広陵町
2022年10月21日	内閣府
2022年10月31日	時事通信社
2022年11月1日	国交省国土交通政策研究所
2022年11月10日	日経BP
2022年11月17日	茨木市
2022年12月1日	台湾：屏東県
2022年12月22日	佐賀県鹿島市議員団行政視察
2023年1月10日	柏原市
2023年1月14日	草加市
2023年2月9日	内閣府
2023年2月9日	八幡市
2023年3月16日	春日井市
2023年3月29日	ジチタイワークス

9. 河内長野市の新たな変化

❖ 2年連続で0～1歳児増加、その後も増加傾向 (※R3⇒R4 出生数、転入数ともに増加)

年齢	R5.03		R4.03		R3.03		R2.03		H31.03		H30.03		H29.3未	
	計	対前年	計	対前年	計	対前年	計	対前年	計	対前年	計	対前年	計	対前年
0～1歳	481	31	450	8	442	-62	504	-11	515	-33	548	-93	641	
1～2歳	484	12	472	-86	558	24	534	-45	579	-99	678	12	666	
2～3歳	487	-82	569	15	554	-47	601	-92	693	14	679	-27	706	
3～4歳	581	26	555	-56	611	-65	676	-5	681	-45	726	35	691	
4～5歳	568	-43	611	-75	686	0	686	-42	728	31	697	-3	700	
5～6歳	614	-67	681	-8	689	-35	724	21	703	-3	706	-29	735	
6～7歳	687	3	684	-45	729	37	692	-10	702	-25	727	-50	777	

年齢	R5.03		R4.03		R3.03		R2.03		H31.03		H30.03		H29.3未	
	計	対前年	計	対前年	計	対前年	計	対前年	計	対前年	計	対前年	計	対前年
0～1歳	481		450		442									
1～2歳	484	34	450	34	442									
2～3歳	487	15	472	30	442									
3～4歳	581	12	569	11	558	54	504							
4～5歳	568	13	611	1	554	20	534	19	515					
5～6歳	614	3	681	0	611	10	601	22	579	31	548			
6～7歳	687	6	681	-5	686	10	676	-17	693	15	678	37	641	
7～8歳	681	-3	684	-5	689	3	686	5	681	2	679	13	666	
8～9歳	734	6	728	-1	729	5	724	-4	728	2	726	20	706	
9～10歳	695	-1	696	2	694	2	692	-11	703	6	697	6	691	
10～11歳	703	-2	705	2	703	-2	705	3	702	-4	706	6	700	

❖ 建築確認件数、開発許可件数増加傾向 (R5年度 さらに増加が見込まれる状況)

年度	建築確認申請	開発許可申請
R2年度	211	16
R3年度	243	15
R4年度	268	21

❖ 空き家率が依然として低水準

市区名	空き家率	順位
箕面市	18.4%	市内1位 全国167位
葛城市	17.4%	市内2位 全国206位
大阪市	17.1%	市内3位 全国227位
守口市	16.9%	市内4位 全国240位
堺市	16.5%	市内5位 全国256位
羽曳野市	16.4%	市内6位 全国259位
東大阪市	16.3%	市内7位 全国265位
金沢市	15.7%	市内8位 全国301位
高槻市	15.5%	市内9位 全国311位
藤井市	15.3%	市内10位 全国323位
草薙川市	14.7%	市内11位 全国357位
阪南市	14.7%	市内11位 全国357位
大東市	14.5%	市内13位 全国373位
松原市	14.5%	市内13位 全国373位
藤井市	14.5%	市内13位 全国373位
八尾市	14.3%	市内16位 全国393位
百済市	14.3%	市内16位 全国393位

市区名	空き家率	順位
泉南市	14.2%	市内18位 全国399位
岸和田市	13.9%	市内19位 全国416位
田原市	13.8%	市内20位 全国427位
豊田町	13.8%	市内20位 全国427位
堺市	13.6%	市内22位 全国441位
富田町	13.2%	市内23位 全国470位
狹山町	13.2%	市内23位 全国470位
豊南町	13.1%	市内25位 全国481位
加田町	12.5%	市内26位 全国525位
吹上町	12.4%	市内27位 全国533位
相模町	11.4%	市内28位 全国606位
河内長野市	11.2%	市内29位 全国621位
太田川町	11.0%	市内30位 全国641位
交野町	10.9%	市内31位 全国645位
高槻市	10.3%	市内32位 全国691位
交野町	9.8%	市内33位 全国717位

❖ 不動産事業者ヒアリングで高評価

「広くて安価な住宅」「美しい自然・空気」「安全・安心」を
求める世帯にニーズあり

❖ 自然が近い、物件が広くて良質・安価

❖ 大阪一安全安心

- ・犯罪発生率府下最小 (5年平均)

- ・地盤が強いランキング府下ダントツ1位

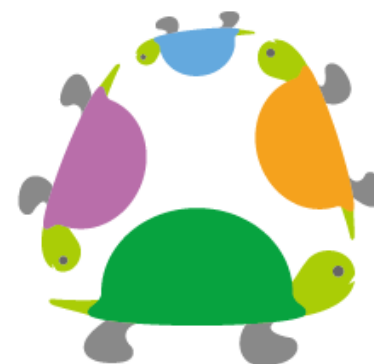
南花台がブランド化している

⇒空き家が出ないまちになりつつある

未来を創る新たな技術の活用について －自動運転・遠隔診療－

地域課題×スマート技術研究会vol.1
SENBOKUスマートシティコンソーシアムスマートタウンWG

「ニュータウン」から「ニューコミュニティ」へ



クルクル
テクテク
NANKADAI
南花台
河内長野市

2.自動運転運行実証事業

(1)運行期間

A・Bルート:令和3年10月16日～ 毎週土曜日
令和4年1月から、下記運行スケジュールのうち
午後便の運行を開始。

C・Dルート:令和5年3月11日～ 毎週土曜日
令和5年11月から、Cルート9時台の運行開始

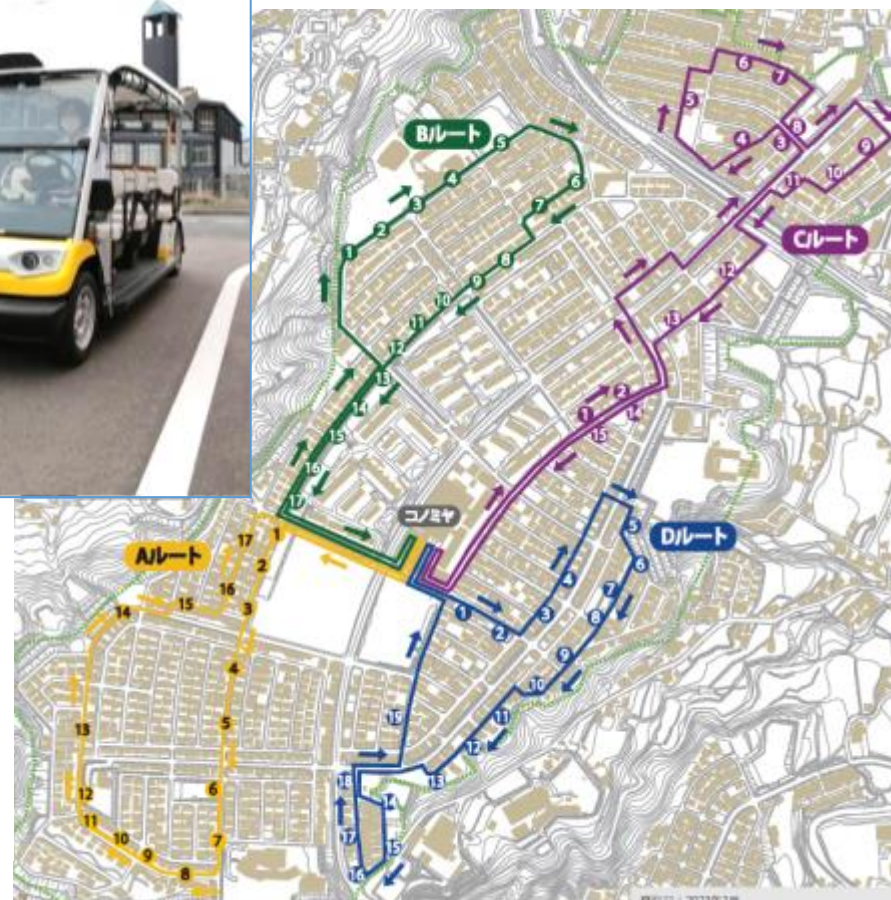
(2)運行ルート

右記、A・B・C・Dルート(総距離約9.8km)

※自動運転時は最高速度12km/h

(3)運行スケジュール

コノミヤ発	Aルート	Bルート	Cルート	Dルート
9時台	—	—	30分	—
10時台	00分	30分	05分	40分
11時台	00分	30分	05分	40分
12時台	00分	30分	05分	40分
13時台	00分	30分	05分	40分



2.自動運転運行実証事業

■遠隔監視システムの導入

- ・オンデマンド運行時に、モニターを起動し、稼働・通信状況を確認。
- ・運行チーム、受付チームと稼働状況を見ながら、システムマニュアルの作成、運用方針を協議。
- ・システム会社と連携しながら、地域の状況にあわせて機材・設定を調整し、通信安定性を向上。

■遠隔監視システムの実証実験と効果検証

令和5年9月26日 遠隔監視システムの視認性の検証を実施(35パターンの運行形態)

- ・自動運転による「地域スタッフの負担軽減」と「安全性の向上」が遠隔監視システムにより図れるか、その検証を目的に地域住民の生活に機能する移動支援の仕組みを構築する
- ・開発団地内の生活道路における自動運転の実証実験35パターンの生活道路環境を想定した視認性・安全性の実証実験



通常運行時の稼働確認



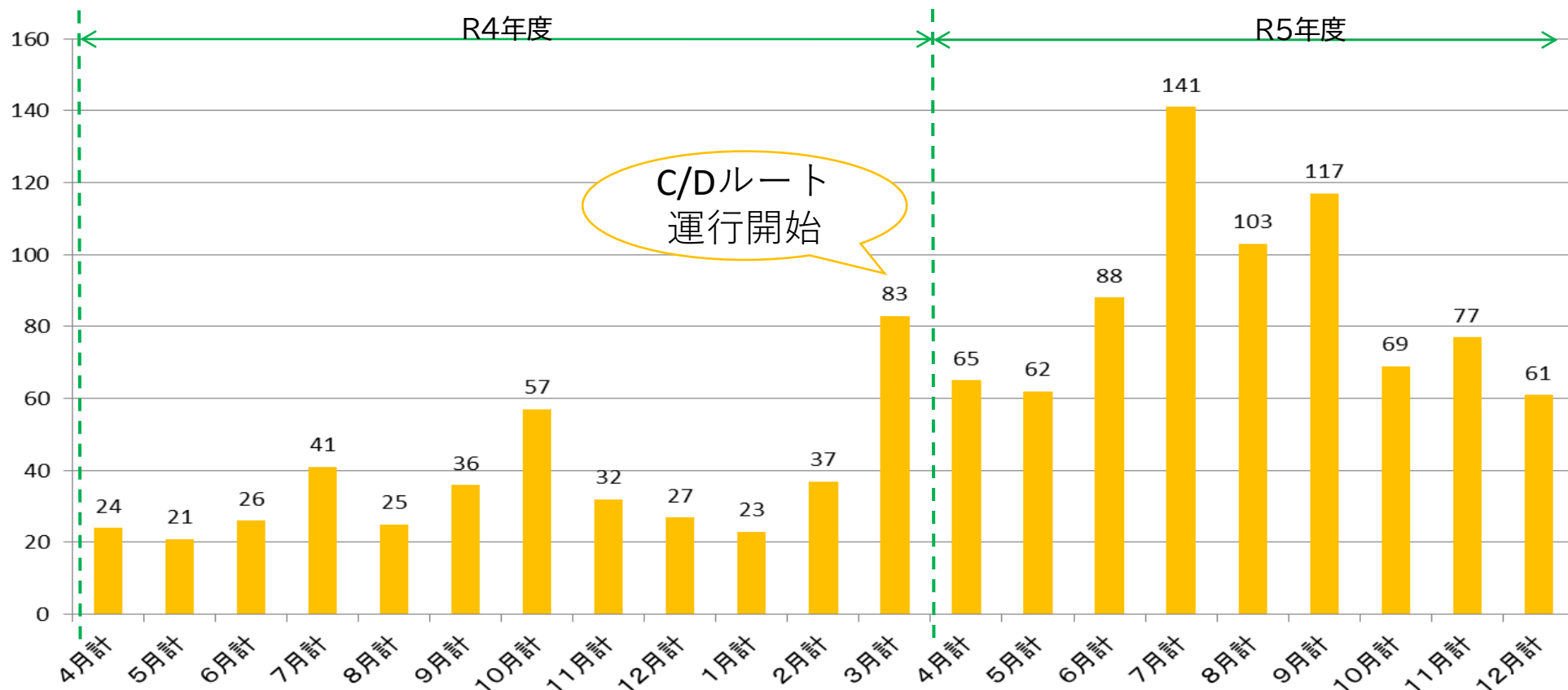
視認性の検証

2.自動運転運行実証事業

【運行実績】

R4年度 432人

R5年度 783人(12月未まで)



【R5年度実績のポイント】

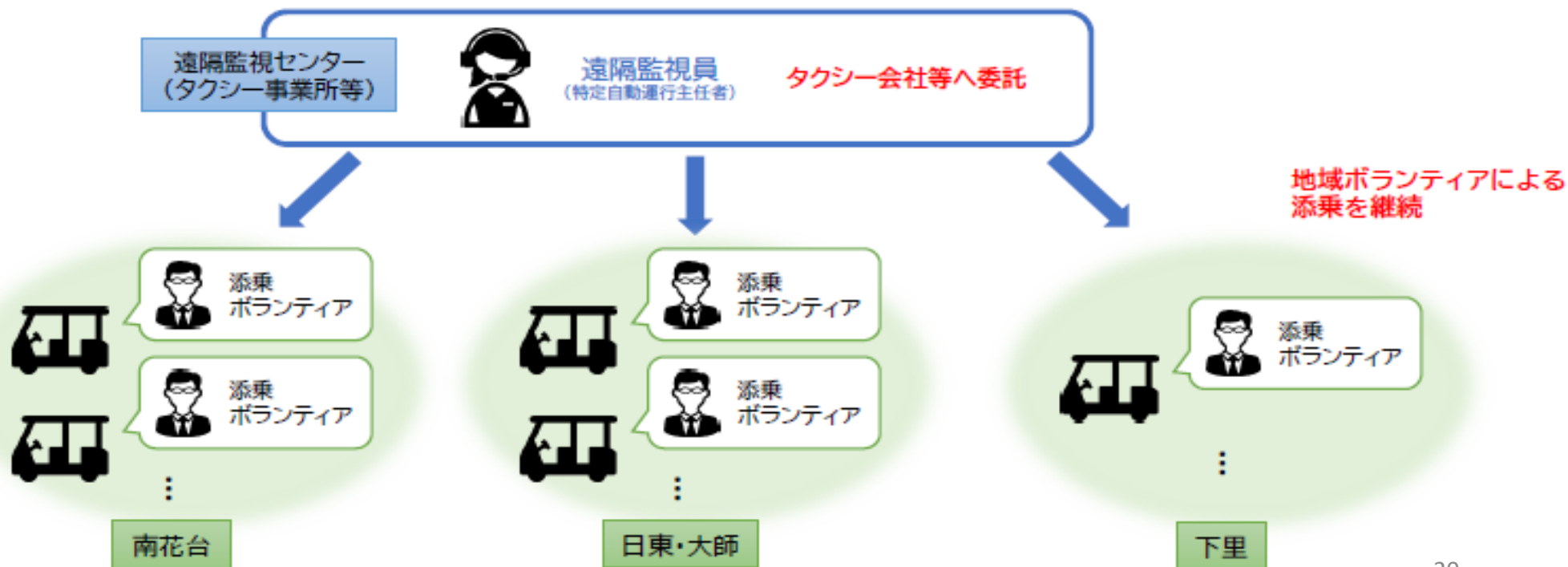
■利用者100人／月越え、リピーターも増加

■11月より、Cルート 9:30発を追加

2.自動運転運行実証事業

■南花台モビリティ「クルクル」自動運転Lv4の目指す姿

- ・クルクルのコンセプト:「のりあい」から「ふれあい」へ
 - －移動の不便の解消だけでなく、地域住民のふれあいや助け合いの場となるような運行
 - －乗客の安全確認や自動運転システムの監視等の運行に関わる部分はタクシー会社等が担当
 - 運行にかかる人件費を最小限に抑えつつ、地域ボランティアの活躍の場とする
- ・河内長野モデルとして、他の住宅街でも横展開できる運行モデルを構築する
- どこの地域でも実現できる体制、ルール作り



1.遠隔診療体制構築実証事業

■ 事業概要

データ連携基盤により、住民の健康状態や医療情報を一元管理し、遠隔医療・予防医療・救急医療のDXを図る。また、オンライン診療技術の向上に伴う実証事業を実施し、アフターコロナにおける遠隔診療の実装を図る。あわせて、規制緩和を見据えたサテライト診療の実証事業を実施。

■ これまでの取り組み

【令和3年度】

河内長野市医師会の参加のもと「遠隔診療の検討に向けた調整会議」を開催

【令和4年度】

①遠隔診療ニーズ確認のための関係主体ヒアリングの実施

医師、介護・福祉事業者、訪問看護師、社会福祉協議会へのヒアリングにより、現状の問題点や将来的な医療ニーズを把握。

②実証に向けたシステムの調査検討

既存の遠隔診療、多職種連携システムを、機能面、コスト面等から比較検討。また、最新の遠隔聴診器や在宅医療診断・計測機器の利用可能性を調査。

③遠隔診療シミュレーションの実施

②で検討した結果を踏まえ、医師、訪問看護師、社会福祉協議会連携のもと、シミュレーションを実施。システムの実用性を評価。



遠隔診療・遠隔聴診システムのデモ



遠隔診療シミュレーションの様子

1.遠隔診療体制構築実証事業

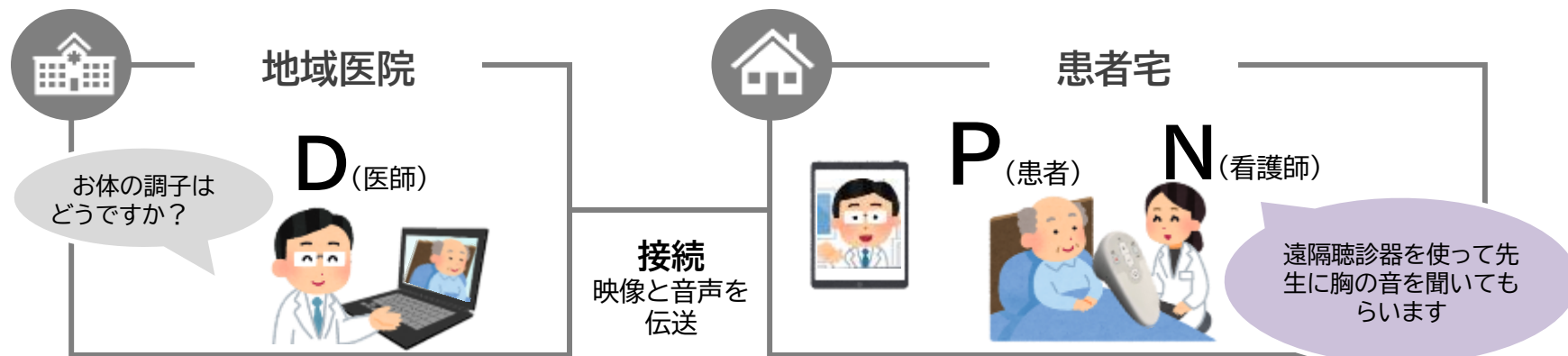
■ 令和5年度事業概要

遠隔診療をより有効に機能させるための、医師会を中心とした遠隔診療実施体制の検討や、多職種連携などの補完的サービス導入の検討、市としての支援体制の検討等を行い、令和6年度の本格運用を目指す。

多機能搭載システム(オンライン聴診、バイタル管理、システム連携)を市が用意して河内長野市医師会に貸し出し、医師、訪問看護師が連携して、在宅診療を補完する、高齢者の遠隔診療受診環境を整備する。

●実証内容

- 患者宅に訪問看護師、訪問看護職員等がタブレット、遠隔聴診器を患者と医師とを接続したうえで遠隔診療を行う(DtoPwithN)
- 医師会地域連携室、訪問看護センターの協力のもと、DtoPwithN形態での遠隔診療実証を継続的に実施し、令和6年度の本格導入に向けた知見・経験を得るとともに、導入時に想定される課題を見つけ、解決策を検討する。



1.遠隔診療体制構築実証事業

●事前準備

- 昨年度の遠隔システム調査検討および遠隔診療シミュレーションにおいて評価が最も高かったシステム、機器を用意し、医師会協力のもと医師、訪問看護センターに貸し出し。
- 機器を利用する医師と訪問看護師向けに利用説明を実施。

●遠隔診療実証の実施

- 2名の医師と訪問看護センターに参画いただき、1月末時点で12回の実証を実施した。(実証は8月より開始)
- 遠隔診療の機器1セットを医師会に貸し出し、地域連携室主催の会議体において医療関係者に対するデモや取り組み説明を実施。



機器類の設置・操作説明の様子



訪問看護師向けの様子



遠隔聴診器の実証の様子

まちの課題対応への新たなアプローチ (咲っく南花台プロジェクト)



終わり